

光市医師会報



1972. 7月

No. 15

光市医師会

昭和47年7月1日

苦しんで強くなることか
いかに崇高なことである
かを知れ (ロングブロー)

たどり来て、マダ山麓 (4回巻)

内 容

1. 医師会月内行事
2. 牛島診療について要約書
3. 周陽比会保険協議会議事録
4. 小児慢性疾患実態調査
5. 海浜救護出張
6. 医師賠償責任保険
7. 会員の声
8. 会報編集委員会
9. 同好会
10. 会員の勤怠

1 医师会月間行事

5. 27(土) 郡市医師 於県医師会館 林会長出
会長会議 席

5. 30(火) 互助会事 於県医師会館 林会長換
業等換討 討委員就任
委員会

5. 28(日) 学校保健 於県医師会館 河内山理
部会支部 事出席
会長

住民保健 河内山理事代理出席
部会支部
会長

6. 10(土) 定例理事 於医師会館
会
1. 協議事項：小島診療の件
要望書提出決定
(2) 海浜救護所出勢の件
9月自交市の要請通り応諾

2. 報告事項：会議出席事項
その他

b. 14. (水) 麻策担当 於県医師会館、河内山理
理事協議 事出席
会

b. 14. (土) 光市医師 於梅田病院協議室
会報編集 改装会報発行に ついて計
画委員会 画

b. 改(大) 月例会 於医師会館 出席者、林、大
野、広田、田中、堀中、渡辺、河内
山、中村、丸岩、梅田、高橋、田尻、
田村、松村、竹中、前田、守友。

協議事項

1. 牛島診療の件 要望書換
討、市長に提出決定
2. 海浜救護所去勢の件 中
角友市の要請通り承諾

3. 会報編集委員会及会報
 発行に ついて 委員会
 計画事項、予算に ついて
 報告、承認通り承認。

報告事項 (1) 郡市医師会
 長会議、互助会事業等換
 討委員会、地域医療担当
 理事協議会(住民学校)に
 ついて(詳報県医会報 No. 633)

(2) 麻薬対策担当理事会(詳
 報県医会報 No. 633)

6月23日迄市の抜打
 ち麻薬調査の実情報告、
 麻薬調査官の資格確認
 の方法に ついて 質疑

(3) その他 (1) 旧旺当直了
 二ヶ一上、(2) 市立深高園
 医の契約、(3) 医賠保険
 の加入、(4) 医師年金の普
 及、(5) 子思慢性疾患の実

熊調査(ホ)日医パニフ(ワ)カ
ラービデ文(カ)にフニフ
(ワ)ガニ換診

6. 24(金) 会報編集 於新日鉄健保会館 会報
委員会 8月発行確認 広告収載
原稿にフニフ換討計画

7. 牛島出張診療フニフ
市に対し要望書

牛島診療所医師派遣にフニフ。光市医師会は昭和43年
11月以降 今日まで光市並びに牛島地区市民の要請に
応えて協力してまゝりましたが、これはあくまで従たるものであり、且
漸定的なものであつて牛島地区医療業務の本質は市光民
の福祉が第一義である光市政の中で主体的に対策される
べき問題と考えるものであります。鉄鋼船の三便就航
のみではこの事の解決ができませんので、光市医師会
においても地域医療活動の中の重要問題として牛島地
区医療のより望ましく在り方を求めて深慮し続けており、
この度は再反に巨市との懇談を重ねましたが、具体的

な対策を見出すことができず、医師派遣に關する契約は現行一部更改の上、6月30日までの暫定契約ということになりました。更に先般の光市並びに牛島地匠代表者を加えての月例会における話し合いにおいても前向きなものを求めることができませんでした。医師会員一人々は医師としての自から選んだ本業があり、而も国民皆保険下の今日、それは益々複雑多岐になり拡大されてきております。一方において医師会活動も特に地域医療活動において万般に亘りその要請度が高まってきております。住民と共に在るべき医師であり、医療であるべきことは、医師の倫理、医の倫理として自明のことでもあります。しかし理念における理想像と現実において完全に求めることは極めて困難であり、医師会活動そのものはやはり一つの限界点を止むを得ずも持たざるを得ない、と思っております。光市政の中での牛島地匠医療業勢、牛島地匠市民の希求、又医師会の地域医療活動の各々が三様にある限界を持ってゐるのでありますが、これを一つの域圏の中に包含させるため、唯單に医師派遣に關する協力を要請するのみでは河清を待つのみではないかと思つております。光市医師会としては、この

3ヶ月の暫定契約期間内において、可能性の限界の拡大を追求し続け、一方においては光市及び牛島地区倒れ医師派遣要請以外の何等かの具体策が提示されることと待ったのでありますが、それは空しい預言でありました。ここにあって、光市医師会は今回の暫定契約期間を9月末日まで延期すること、う時內的余裕を配慮する用意があることを提議し、光市が牛島の医療業務に與する具体的な方策乃至は計画を速かに提示されることを重大なる決意をもって要望するものであります。

昭和47年6月 日

光市長 松岡満寿雄 殿

光市医師会長 林孝之

3. 周陽社会保険協議会 議事録

昭和47年3月23日開催された周陽社会保険協議会における協議内容を検討し、光市医師会長が周陽三市医師会、歯科医師会を代表して議事録に署名捺印した。議事録内容は示本の写しを別掲。

4. 小児慢性疾患実態調査要綱

厚生省は小児慢性疾患(気管支ぜんそく, 気管支拡張症, 心疾患, リウマチ熱, 膠原病, 慢性腎疾患, 内分泌疾患, 糖尿病, 先天性代謝異常, 先天性免疫不全, 慢性血液疾患, 悪性新生物)の実態調査を7月1日より11月31日まで実施する

1. 調査対象医療機関 全国主要病院900.
2. 慢性呼吸器疾患に罹患して1ヶ月未満の患児については上記医療機関より無作為に抽出された150の医療機関.

追加

5. 海浜救護所の出務

本年度は市の要請通り応諾に決定した。

出務編成表

月日	7月16日	7月23日	7月30日	8月6日	8月13日
場所	室積	虹ヶ浜	室積	虹ヶ浜	室積
午前 9.0-12.0	亀田	守友	梅田	松前	高島
午後 13.0-17.0	篠山	高橋	富恵	中村(琢)	中村(国)

6. 医師賠償責任保険

現世相下、会員の不必要な経済面と精神面との負担を防止する観点より全会員が「医師賠償責任保険」に加入することを懇請している。この会等検討委員会は審議の結果下記の通り結論をまとめた。

1. 医師会自からでの賠償責任保険に類似するもののようなものを行なうことの検討を行なうことは当を得ていない。
2. 前項を論ずるより、先ず全会員が「医師賠償責任保険」に加入するようになり強かに懇請すべきである。
3. 現世相又は現経済状況下では、なるべく全員が1,400万円の契約とすることが望ましい。
4. 保険会社では「1,400万500万円」「2,000万円」の契約を開始してあるものがあるので、可能を限りその契約とすることをも懇請すべきである。

17. 会員の声

“市の業勢に協力出勢には公用車の使用と提議致します。”

現在予防接種学校検診、牛島出張に際し、
自家用車が使用せられ、大へん便利では
ありませんが、某医師会の契約書に“就業
中(業勢のため庁用車により会場までの
順路による往復も含む)に生じた災害
補償は地方公務員規定に準ずる”と明
記して居ります。

自家用者使用の場合、就業中とは、どのほ
どの範囲を規定するものか。亦往復途
中たゞ者に対する傷害事故と惹起する
こともありうると思っております。

この様な危険を未然に防止の意味に於
て市当局及び教育委員会に協力出勢の
場合公用車の提供をお願いして載って
は如何でしょうか (一会員)

“広報に掲載して乍ら予防注射出勢”

6月末日夏休がおつてが、やをを得ずお務
 した。場所は市庁舎。ところが此の編成
 日割申は市広報には掲載さよていふ。
 集まつて被接種者は市役所と消防所の職員
 ばかり。ちよつと喪を氣かした。一何ど
 うなつておんどしよう。(一会員)

7/8

会報編集委員会

6月17日才一回、6月29日才二回の編集委員会
 が開催された。例会において承認された通り
 8月発行を期し諸準備が進められておる。編
 集委員会は会員諸君の指導、鞭達を期待し、尚諸
 君の原稿を切に望んで居る。

委員会出席者 大野 渡辺 田中 高橋
 伊藤 中村(時)

会報発行の構想

- | | | | |
|----------|-------|---------|----------|
| 1. 発行目標月 | 8月 | 5. 発行回数 | 月刊 |
| 2. 発行者 | 医師会長 | 1 題 | 格 B5 |
| 3. 発行所 | 光市医師会 | 7 表 | 題 光市医師会報 |
| 4. 編集責任 | 編集委員会 | 8. 表紙写真 | 風景その他 |

9. 原稿締切 毎月20日 10. 広告 第12号
 11. 編集委員会 月末 12. 頁数 標準6頁
 13. 算 擬算

15,000円(1頁) × 6 × 8 72,000円

広告掲載に50%収入と見 48,000円

9. 同好会

1. 緑友会ゴルフ 6月18日

於光カントリークラブ 初夏の陽光を
 浴びてのプレイは、患者も、おびらけし...
 保険も忘れさせてくれるが、スコアは余
 し芳しと云う。練習不足で成績の悪...
 先生から罰金を取ることに衆議一決。
 Net 90を越したT先生がオーストラリアの
 毒さまでした

出場者 9名

			O.	i	G	Hd	Net
優 勝	山井		54	53	107	29	78
準優勝	大野		45	51	96	15	81
三 位	尾田		55	47	102	20	82
B.	G	大野					

(富貴記)

2. ボーリング同好会 (高志記)

於光セントラルボール 6月22日

たまたま下松の研究会と合致したので
出場者が少なかつたのは残念である。

診察が終つて8時より開始なので今後
多数の参加を望んでおる。

出場者 5名

		1	2	3	Hand	Total
優 勝	河内山	157	175	163	30	525
準優勝	亀 田	168	131	161	0	460
三 位	竹 中	114	145	112	30	401
B. 4.	河内山					

大野氏はハンディー120から240に昇格
どうもゴルフとは勝負が違ふらしい。

10. 会 員 の 動 静

森先生には高志医院へ入院加療の折7月3
日退院された。祈り自覚

あとがき 年書き会報4本号を以て終る。諸
先生の快支援を深謝する。